

6 食物アレルギーに関する研修

(1) 校内研修

ア 研修内容

職員研修では、以下のような内容を参考に行います。

職員研修のポイント(例)

- 1 食物アレルギーの基本的な知識理解
 - (1) 食物アレルギーとは
定義・頻度・原因・症状・治療
 - (2) アナフィラキシーとは
定義・頻度・原因・症状・治療
- 2 校内及び関係機関との連携体制づくり
 - (1) 幼稚園（幼稚部）、保育所、小学校（小学部）、中学校（中学部）、高等学校（高等部）等、異なる学校・学部での連携
 - (2) 該当児童生徒に対する個別指導の在り方
家庭と連携して食べてよいもの、いけないものを自覚させる。
 - (3) 学校生活管理指導表や食物アレルギー児童生徒個別支援プランについて
- 3 日常生活での配慮事項
 - (1) 給食での対応
 - (2) 給食以外での対応
 - (3) 他の児童生徒への説明・協力の在り方
- 4 緊急時の対応
 - (1) 発症時の症状と対応の仕方（教職員の役割分担）
 - (2) 緊急対応訓練（シュミレーション研修、消防機関や医療機関との連携）
 - (3) 事故及びヒヤリハット事例への対応
 - (4) エピペン®の保持者と保管場所の確認
 - (5) エピペン®の使い方（エピペン®トレーナーを使用しての実技研修）
 - (6) 発症後の児童生徒の心のケア

※ 必要に応じて学校医、学校薬剤師、消防機関等の指導助言を受けながら適切に行う。

イ 研修時期

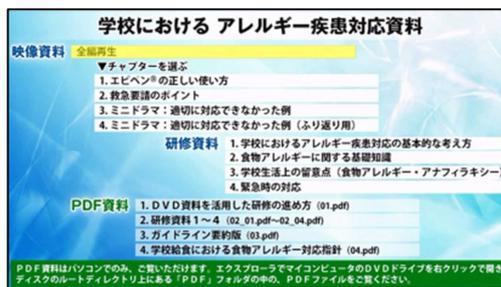
- 年度初め（学校給食を実施している場合は給食開始まで）
- 児童生徒の食物アレルギー状況や対応が大きく変わったとき
- 校外活動や宿泊を伴う行事等の前 等

(2) 研修のための参考資料

学校におけるアレルギー疾患対応資料（DVD）

（文部科学省 公益財団法人日本学校保健会 平成27年3月）

学校におけるアレルギー疾患対応の基本的な考え方などについて研修資料、エピペン®の正しい使い方などについての映像資料が収められたDVDです。この資料を活用して、いざというとき、迅速に動けるように、教職員が正しい知識と適切な対応を身に付けるために作成されたものです。



① 資料の構成

ア 研修資料（ナレーション付き）

- (ア) 学校におけるアレルギー疾患対応の基本的な考え方
- (イ) 食物アレルギーに関する基礎知識
- (ウ) 学校生活上の留意点
- (エ) 緊急時の対応

イ 映像

- (ア) エピペン®の正しい使い方
- (イ) 救急要請のポイント
- (ウ) ミニドラマ：適切に対応できなかった例
- (エ) ミニドラマ：適切に対応できなかった例（ふり回り用）

ウ PDF資料

- (ア) DVD 資料を活用した研修の進め方
- (イ) 研修資料（1～4）
- (ウ) ガイドライン要約版
- (エ) 学校給食における食物アレルギー対応指針

② DVDを活用した校内研修の進め方

この資料は、「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」の内容をすべての教職員が理解できるように作成したものです。研修資料を活用し、正しい知識と適切な対応法を身に付けることができるようにするために、校内研修を行う際には、次の研修例を参考にしてください。

研修例 1 「学校におけるアレルギー疾患対応について」（研修時間の目安 2時間）

ねらい：学校におけるアレルギー疾患対応の基本的な考え方を理解するとともに、緊急時の対応ができるようにする。

1 研修資料と映像資料の視聴（約50分）	
視聴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修資料1：学校におけるアレルギー疾患対応の基本的な考え方 ○ 研修資料2：食物アレルギーに関する基礎知識 ○ 研修資料3：学校生活上の留意点 ○ 研修資料4：緊急時の対応 ○ 映像1：エピペン®の正しい打ち方 ○ 映像2：救急要請のポイント
2 映像3の視聴（約5分）と話し合い	
視聴	○ 映像3「ミニドラマ：適切に対応できなかった例」 参加者は、視聴しながら適切に対応できていない箇所や改善点等をメモする。
話し合い	○ 視聴後、メモを基に不適切な箇所や改善策について話し合う。
3 映像4の視聴（約11分）とふり回り	
視聴 確認	○ 映像4「ミニドラマ：適切に対応できなかった例（ふり回り用）」 ふり回りながら注意すべきポイントを確認する。 * 必要な場合は、研修資料4：緊急時の対応を視聴する。
4 「緊急時の対応」、「食物アレルギー緊急対応マニュアル」の確認と検討	
確認 検討	○ 自校の「緊急時の対応」「食物アレルギー緊急対応マニュアル」の確認と改善点を検討する。 * ぜん息発作時の対応について確認する必要がある場合は、「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」（P21～36）を参考にする。

【研修資料1】



【研修資料2】



【研修資料3】



【研修資料4】



研修例 2 「学校での食物アレルギー対応の留意点について」 （研修時間の目安 1 時間）

ねらい：自校の食物アレルギー対応の留意点を確認し、適切に対応できるようにする。

研修資料の視聴（約10分）	
視聴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修資料3：学校生活上の留意点資料 ・ 「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」 ・ 「学校給食における食物アレルギー対応指針」 <p>※ 必要な場合は、「研修資料1：学校におけるアレルギー疾患対応の基本的な考え方」「研修資料2：食物アレルギーに関する基礎知識」を視聴する。</p>
学校給食提供に関する留意点の確認	
確認	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体で学校給食提供に関する具体的な対策について、配慮や管理が必要な児童生徒の状況と合わせて確認する。
学校給食以外の活動に関する留意点の確認	
確認	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年部、教科部ごとに、学校給食以外の活動（食物・食材を扱う授業・活動、体育・部活動などの運動、宿泊を伴う校外活動など）における留意点を確認する。

研修例 3 「食物アレルギーの緊急時対応について（例1）」 （研修時間の目安 1 時間）

ねらい：食物アレルギーの緊急時の対応ができるようにする。

研修資料4の視聴（約7分）	
視聴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修資料4：緊急時の対応 <p>※ 必要な場合は、「研修資料1：学校におけるアレルギー疾患対応の基本的な考え方」「研修資料2：食物アレルギーに関する基礎知識」を視聴する。</p>
緊急時の対応と役割分担等の確認	
確認	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自校の「食物アレルギー緊急対応マニュアル」の対応の流れと各自の役割分担、分担業務等を確認する。
検討周知	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題等があった場合は、改善策を検討し、全教職員に知らせる。
映像1、2の視聴（約7分）	
視聴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 映像1：エピペン®の正しい打ち方 ○ 映像2：救急要請のポイント
緊急時対応訓練	
訓練	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実際に緊急時の対応をシミュレーションしてみる。 ・ エピペン®トレーナーを使った正しい打ち方の実習 ・ 救急車要請の電話のかけ方、保護者への連絡の仕方

研修例 4 「食物アレルギー緊急時対応について（例 2）」（研修時間の目安 1 時間）

ねらい：食物アレルギーの緊急時の対応ができるようにする。

映像 3 の視聴（約 5 分）と話し合い	
視聴 話し合い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 映像 3 「ミニドラマ：適切に対応できなかった例」 参加者は、視聴しながら適切に対応できていない箇所や改善点等をメモする。 ○ メモをもとに不適切な箇所や改善策について話し合う。
映像 4 の視聴（約 11 分）とふり返り	
視聴 確認	<ul style="list-style-type: none"> ○ 映像 4 「ミニドラマ：適切に対応できなかった例（ふり返り用）」 ふり返りながら注意すべきポイントを確認する。 * 必要な場合は、研修資料 4（緊急時の対応）、映像 1（エピペン®の正しい打ち方）、映像 2（救急要請のポイント）を確認する。
緊急時の対応と役割分担等の確認	
確認 検討	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自校の「食物アレルギー緊急対応マニュアル」の対応の流れと各自の役割分担、 分担業務等を確認する。 ○ 課題等があった場合は、改善策を検討する。